

あきのくに あ き ぐんくま の むら かいじょう
安芸国安芸郡熊野村 海城家文書 目録

(『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集 所収)

広島県立文書館

平成24年(2012)8月

凡 例

- 1 本目録は、『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集(平成6年3月刊)に掲載された「安芸国安芸郡熊野村 海城家文書」の目録である。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。
 - 請求番号 本文書群の群番号(198808)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。
【例】 189/1 198808 / 189 / 1
 - 表 題 資料にある原表題をそのまま採った。原表題がないものは、仮題を付けて〔 〕書きとした。内容について補記が必要な場合は、()書きで補った。頭に。を付したの、集合形態等をした文書の内訳であることを示す。
印を付けた文書は、複数の項目に重出させたものである。
 - 年 代 資料に記された作成年月日を探り、推定は()書きとした。
 - 作 成 資料にある作成者名をそのまま採り、資料に授受関係のあるものは 結んで表記した。
 - 形 態 資料の形態を記した。
 - 数 量 資料の点数を記した。
 - 備 考 補記すべき備考があれば、 付きで示した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の解説を冒頭に付した。
- 5 本目録で使用している日本語文字のうち、JIS規格(JIS X 0208)に含まれないものは、押 方(より)である。これは、特殊な方法で表示してあるので、文字として検索すること、および、テキストとして抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては、その点に留意されたい。

小 目 次

1 近 世	1	家(書翰)	16
支配	1	家(その他)	17
土地(村高)	1	3 典 籍	17
土地(持高)	1	漢籍	17
村	2	漢学	18
水利・普請	3	仏教・神道	18
宗教	3	年表・年代記・実録・歴史	18
家(日記)	8	漢詩・和歌	19
家(香典帳)	8	教訓	19
家(その他)	8	囲碁	19
聞書	9	浄瑠璃・義太夫・長唄	19
2 近 代	9	医学・薬学	20
土地	9	辞書・用文	20
水利・普請	10	手習い	20
奉書・辞令	11	和算	21
救恤・寄付	13	法制	21
家(記録)	14	便覧	21
家(経済)	14	暦	21
家(香典帳)	14	書	21
家(荻野悦太郎)	14	教科書	21

解 説

1 海城家文書の由来

海城家文書は、昭和30年代に所蔵者の海城他人雄氏から広島県立図書館に寄託され、整理・利用されていたが、昭和63年10月に県立図書館が広島市中区上幟町から現在の広島県情報プラザ（広島市中区千田町三丁目）内へ移転し、同プラザ内に広島県立文書館が開館するに当り、同年8月18日海城他人雄氏の実子に当たる石田静子氏から県立文書館に寄贈されたものである。なお、その際に県立図書館寄託分266点に「諸秘伝」1点を加えられ、計267点となった。

2 熊野村の概況

現在筆の名産地として知られる安芸郡熊野町は、近世の安芸郡熊野・平谷・川角の三村から成っている。なかでも瀬野川の支流熊野川の上流に広がる熊野盆地の大半を占める熊野村は、俗に「熊野三千石」とよばれる安芸郡最大の石高を有する大村で、慶長6年(1601)の福島正則の検地による村高は2558石6斗5升3勺である。延享3年(1746)には地こぶりが行われ、村高は若干減少して2558石余とされ、幕末まで変わらなかった。大村のため庄屋は2人制で、それぞれ呉地・出来・中溝・萩原・城之堀と初神・新宮の地区を担当した。

広島藩は、大身の藩士に対しては給知を与える地方知行制をとっていたが、家老給知を除き一つの村が一藩士の知行地に指定されることはなく、複数の藩士の知行地となる相給制であり、村内に給知を与えられた藩士（給人）ごとに給庄屋が置かれた。熊野村はその大部分が給知で占められており、例えば天保9年(1838)には、村高の97.3%が給人43名の給知となっていた。

熊野村は、北東から時計回りに賀茂郡熊野跡村・津江村・郷原村、安芸郡苗代村・川角村・平谷村・奥海田村・中野村の8ヶ村と境を接し、いずれも高い山に囲まれている。農民は主として耕作に従事しているものの、村内に川は少なく、特に上流は水が乏しいため、水利は文化12年(1815)段階で村内に136ヶ所築かれている溜池に頼らざるを得なかった。農間余業は、藩の御建山や御留山の樹木の払い下げを受けて伐採し、材木や板に加工したり、または薪や木炭として販売する山稼ぎや、紀州や大和地方までかけて熊野地方で木挽や材木の運搬に従事する出稼ぎであった。その帰路に奈良の筆や墨を仕入れて行商するものも多く、熊野村の筆の生産もそこから始まったと伝えられる。

3 海城家について

海城家の本姓は荻野氏で、海城（江戸時代には主に海上）は家号であった。明治初年、当主彦三郎は本姓である荻野氏を名乗ったが、明治13年8月から10月の間に海城と改姓したようである。以下、この解説では、当家の名称を「海城家」と統一することにする。

その海城家の出自についての詳細は不明である。慶長6年(1601)11月の2冊の「安芸国安南郡熊野村御検地帳」〔1-1・2〕の名請人で肩書きの付いたものは368名に上るが、「かいじやう」の肩書きを持つ新左衛門がその先祖にあたるものと考えられる。その新左衛門の名請地は表1

表1 かいじやう新右衛門の名請地（慶長6年）

番号	ほのぎ	品位	反別	分米	備考
1	かいじやう	下々田	4.00	0.24	
2	"	下々畠	1.00	0.02	当荒
3	上ノはら	下 畠	3.25	0.115	
4	たなた	下 田	2.00	0.16	肩書きなし
5	かいしやう	下 田	29.28	2.394	"
6	うへノ原	中 田	5.25	0.641	"
7	"	上 畠	1.00	0.07	"
8	居屋敷		2.24	0.42	"
9	かいノやう 道狭	中下田	38.20	3.48	"
計			89.02	7.54	

海城家文書「安芸国安南郡熊野村御検地帳」〔1-1・2〕による。

の通りで、反別8反9畝余、持高は7石5斗4升に及び（村内最高は庄屋宗叶で、1町7反9畝余、15石2斗8升余）。その後同家は、元文2年(1737)には、彦右衛門とその子幸八分を合わせて35石8斗5升、延享4年(1747)に幸八だけで39石8升8合と持高を増加させるとともに、熊野村でも組頭や庄屋を勤めるようになっていく。前にも述べた通り、熊野村はそのほとんどが給知であり、天保9

年(1838)の幸次郎は、同村に給知49石7斗3升1合の給知をもつ広島藩士米村嘉門の給庄屋となっている。

海城家で、熊野村の組頭として初めて資料で確認できるのは元文元年(1736)の組頭彦右衛門である〔248〕。それ以降代々熊野村の組頭・庄屋に就任している。海城家文書には、幸八が組頭に就任した寛保3年(1743)以降の歴代の奉書を卷子仕立てにした「熊野村与頭彦右衛門外奉書継」〔198-1〕が残されており、それによって代々の村役人任職時期をまとめたのが表2である。海城家文書には系図が伝わっていないため、親子関係や各当主の生没年を明確にできないが、一部香典帳によって没年を推定できるものがあるので、次に示しておく。

彦十郎 文化元年5月9日
 秀太郎 文政11年11月24日
 幸次郎 嘉永6年10月10日
 彦三郎 明治36年4月12日

安芸郡熊野村は大小区制の下で第三大区五小区となり、彦三郎は明治5年1月に熊野村の少長に任じられている。大小区制ではその後目まぐるしく職制が改正され、彦三郎がついた公的な役職も多岐におよぶ。明治年間の奉書・辞令からその主要なものを次にあげておきたい。

勸学係	明治6年3月～明治7年9月
五小区総代人	明治10年7月～明治11年5月
熊野村学務委員	明治13年3月～明治15年3月
熊野村備使	明治13年10月～明治14年9月
熊野村新宮原組受	明治14年10月
安芸郡第十五小学区学務委員	明治16年5月
新宮組受備使	明治16年10月～明治17年6月
新宮組長	明治18年7月
悪疫予防世話係 伝染病予防世話係	明治19年6月
熊野村使部	明治19年10月

表2 海城家の村役就任年月日

名前	役名	就任(退任)年月日
彦右衛門	組頭	～寛保3(1743).5
幸八 (彦右衛門俵)	組頭	寛保3.5～
彦十郎	百姓 組頭	明和6(1769).4～
彦十郎	長百姓 組頭	天明4(1784).6～
彦十郎	組頭 庄屋	寛政11(1799).11.12～
政吉(彦十郎俵)	組頭	文化元(1804).9.6～
彦太郎	組頭 庄屋	文化9(1812).11.27～
幸次郎 (庄屋秀太郎俵)	組頭	文政11(1828).12.24～
幸次郎	庄屋兄習・組頭	天保13(1842).10.3～
彦三郎 (幸次郎俵)	組頭	安政元(1854).12.1～
彦三郎	組頭・社倉十人組 頭取兼帯	安政5(1858).6.18～

庄屋秀太郎は文化12年から確認でき、彦太郎の改名とも考えられる。海城家文書「熊野村与頭彦右衛門外奉書継」〔198-1〕による。

4 目録編成と文書の概要

海城家文書は、2つの長櫃に入れられて県立図書館に持ち込まれ、同じ状態で郷土資料室で保管されていた。簡単な目録は県立図書館で作成されているが、どのような順序で整理されたかは不明である。文書館へも、この長櫃ごと移管された。長櫃の大きさ(蓋部分は除く)は、1つは縦29.5cm×横60cm×高23cmで、両横に「海城用」「四番池」、蓋裏に「広島県あき郡熊野村769番邸 海城」、もう1つは縦29cm×横62.5cm×高23cmで、両横に「元家荻野」「海上」と、筆書きされている。

海城家文書を再整理するにあたって、枝番号などの体裁を一部変更したものもあるが、県立図書館で作成された目録の順番は基本的に変更していない。保管状況は概して良好で目立った破損はない。ただし、袋や封筒だけ残されて中身のないものがあり、一旦取り出されて、元に戻されなかったとみられる。

目録の編成にあたっては、まず近世・近代・典籍の3つの大項目を立てた。近世文書では、「支配」「土地」「村」「水利・普請」「宗教」「家」「聞書」の7つの中項目を立て、さらに「土地」「家」では3つの小項目を立てている。

近世の部でまず特筆すべきは、「土地」のうち、慶長6年(1601)に福島正則によって行われた領内総検地で作成された「安芸国安芸郡熊野村検地帳」〔1-1・2〕で、現在確認されている約50村の福島検地帳の1つである(熊野町指定文化財)。この「検地帳」は2分冊に仕立てられ、それぞれの奥書に、紙数135枚、104枚(表紙を含む)と記されている。いずれも簡単な補修が施された跡があり、表紙が付け加えられ、綴じ紐も近年のものである。第2冊は原表紙が欠けており、その末尾には検地奉行3人の署名と花押がある。「検地帳」に記載された分米や名請人の箇所には、後年の筆になる付紙がたくさん貼付されているが、剥がれた跡もかなり見受けられる。この「検地帳」は、『熊野町史』資料編に所収されているので、参考にしていきたい。「土地」の項目では、この他に延享3年(1746)に実施された「熊野村田畠地押帖」や、海城家の土地所有の状況がわかる3冊の帳簿もある。また、海城家が購入したり、村役人として加判した、享保11年(1734)以降の土地証文が19通残されている。

「村」では、宝暦11年(1761)に視察のため領内を通行した幕府の巡見使から尋問を受けた場合、それに答えられるよう準備した、いわゆる村役人の「マニュアル書」ともいべき「御巡見使様御通行御尋之品御答申上ル覚書」〔239〕がある。郡奉行から示された藩の諸制度と、安芸郡内各村の明細が折本仕立ての小冊子に記載されている。「懐中必用録」〔195〕は、文久元年(1861)6月に藩主茂長(長訓)が領内巡視のため熊野村を通行したときの応接の状況を記した資料で、熊野村の概況も入っている。これは『熊野町史』資料編に収められている。

「水利・普請」は、「海上池」の普請や水割りに関する資料である。海城家では、この池の樋守をしていたようである。熊野村には灌漑用の溜池が多く築かれていたことは先にも述べた通りであり、この管理は農民にとって死活問題であった。なお、『熊野町史』資料編には、安永8年(1779)の「海上池水割人別畝附帖」〔181〕と文政6年(1823)の「開城雨池水掛畝高書□ □」〔182〕の2つの資料が掲載されている。

「寺社・宗教」は、海城家の当主で熊野村の与頭役を勤めていた幸次郎が、檀頭をしていた熊野跡村真宗専立寺の養子問題に反発して、嘉永元年(1848)に離旦した上、広島寺町の広福寺に壇寺を移してしまった事件の関係資料である〔238・240〕。村内の宗旨人別改にも影響が出るため、この問題は割庄屋などもまきこんで紛糾したが、結局割庄屋の取り成しによって嘉永4年に帰旦したようである。

近代文書は「土地」「水利・普請」「奉書・辞令」「救恤・寄付」「宗教」「家」の6つの中項目を立て、「家」ではさらに6つの小項目を立てている。

この中で特筆すべきは、「家」に含まれる「荻野悦太郎関係」の一連の資料である。彦三郎の長男荻野悦太郎は、陸軍士官学校の招募に応じて上京し、その試験を受けた。その結果、明治9年7月に東京警視第五方面第二分所四等巡査に採用された。翌年4月に三等巡査に昇進した後、九州鹿児島への出張を命じられ、警部補として警備の任務で国分警視分署詰となり、西南戦争に従軍した。前線での戦いには加わらなかったものの、鹿児島湾岸の絵図や、戦地での西郷軍の様子など生々しい情報を、熊野村の父彦三郎に宛てた数通の書翰で伝えている。悦太郎は帰京後、西南戦争従軍の功によって警視局から賞状と賞金を渡されることになったが、明治12年7月5日に死去した。

典籍類は、「漢籍」「和書」「教科書」の3つの中項目を立て、「和書」はさらに15の分類を行った。これら多岐にわたる蔵書から、海城家の教養の深さを知ることができる。

5 おわりに

以上、海城家文書と、その周辺について概括的に述べてきたが、熊野町の詳細については全2巻の『熊野町史』をぜひ御参考いただきたい。なお、文書館にこれらを寄贈していただいた際に、海城家の末えいにあたる故石田静子氏から十分な聞き取り調査を行わなかったために、今では不明となってしまった事柄があまりにも多く、この解説を執筆するにあたりたいへん残念であった。その点を今後の反省材料として生かしていきたい。最後に、学術研究のためにこの海城家文書を快く寄贈いただいた故石田静子氏のご冥福をお祈りして、解説の筆をおきたい。

参考文献

『熊野町史』生活誌・資料・年表編, 『同』通史編, 『広島県の地名』(平凡社)

(西村 晃)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
----	----	----	----	----	----

1 近世

支配

223	社倉之儀ニ付下方江示教書	天明7.8.		豎冊	1冊
224	御触書写(真宗僧侶・門徒不心得,神棚 おろしニ付) 天明8年6月,文化8年4月,文化11年6月の触書	文久3.初秋写		豎冊	1冊
244	申談頭書(御国産木綿上登御仕法等ニ 付)	巳.3.		切継紙	1通

土地(村高)

1	〔安芸国安南郡熊野村御検地帳〕			括	1括(2冊)
1/1	○安芸国安南郡熊野村御検地帳 式 帖の内	慶長6.11.4	湯浅助左衛門・鶴見平右衛門・ 松井小兵衛	豎冊	(1冊)
1/2	○〔安芸国安南郡熊野村御検地帳〕 表紙欠	慶長6.11.4	湯浅助左衛門・鶴見平右衛門・ 松井小兵衛	豎冊	(1冊)
185	〔安芸国安芸郡熊野村田畠地押帖〕 表紙欠,附表紙あり	(延享3)		豎冊	1冊
176	安芸郡熊野村海上田畠畝石坪附 寛保三年七月六日の奥付あり	元文2.10.	海上ノ彦右衛門	豎冊	1冊
175	地こぶりノ節安芸郡熊野村海上田畠 畝石坪附控 嘉永三年極月海上幸次郎上紙付替	(延享3)	海上幸八	豎冊	1冊
183	安芸郡熊野村海上田畠畝石坪附帳 附り門田八十平江分地譲渡シ控	延享4.		豎冊	1冊

土地(持高)

260	永代ニ切売申畠之事	享保11.12.	田地売り主分七・寺西九八郎 様与庄屋吉郎兵衛 かいせう 庄右衛門殿	豎紙	1通
248	永代売渡し申田地之事	元文元.12.	売主善四郎・与頭彦右衛門 かい上甚三郎殿	豎紙	1通
259	〔永代田地売渡証文断簡〕 前欠	元文2.3.	売主孫三郎・証人六右衛門・ 与頭彦右衛門 海上甚三郎殿	豎紙	1通
247	永代ニ売渡し申田畠之事	元文3.12.	売主善四郎・与頭彦右衛門・ 証人藤三郎 かい上甚三郎殿	豎紙	1通
245	永代売渡し申田地之事	元文4.12.	かり主藤三郎・証人松右衛門 彦右衛門殿	豎紙	1通
253	永代売渡し申田地之事	元文4.12.	かり主助左衛門・証人藤三郎 彦右衛門殿	豎紙	1通
249	永代売渡し申田地之事	寛保元.12.	売主喜右衛門・証人九兵衛・ 与頭彦右衛門 甚三郎殿	豎紙	1通
261	覚(腰林永代売渡証文)	寛保元.極.	かり主吉郎兵衛・証人半三郎 与頭彦右衛門殿	豎紙	1通
109	永代売渡し申候古荒地之事	寛保2.正.	売主松右衛門・証人九兵衛 与頭彦右衛門殿	豎紙	1通
254	永代売渡し申田地之事	寛保2.2.12	売主助左衛門・証人松右衛門 組頭彦右衛門殿	豎紙	1通
246	永代売渡し申畠之事	寛延元.12.	うり主助左衛門・証人長百姓 藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
258	永代売渡し申田地之事	寛延元.12.	うり主七兵衛・証人長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
250	永代売渡申田畠之事	寛延 2 .12.	うり主惣右衛門・証人長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
252	永代売渡申田地之事	寛延 2 .極.	うり主松右衛門・証人長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
256	永代売渡し申田地之事	寛延 2 .12.	うり主三郎兵衛・証人長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
262	永代売渡シ申腰林山之事	寛延 2 .12	うり主七右衛門・証人六右衛門・同長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
251	永代売渡申田地之事	宝暦元.11.	売主彦左衛門・証人長右衛門・加判長百姓藤三郎 組頭彦十郎殿	豎紙	1通
255	永代売渡シ申腰林之事	宝暦 2 .12	売主初神甚右衛門・証人長百姓弥四郎 与頭彦十郎殿	豎紙	1通
257	永代売渡シ申田地之事	宝暦 2 .12	売主新六・証人嘉兵衛・加判長百姓藤三郎 与頭彦十郎殿	豎紙	1通
村					
239	御巡見様御通行御尋之品御答申上ル覚書 包入	宝暦11. 6 .	安芸郡熊野村新宮原彦十郎	折本	1冊
192	〔間違物改帳綴〕			綴	1綴(3冊)
192/1	○午ノ年間違物人別改極清算差出根帳	天保10. 7 .	算方組頭幸次郎・長百姓健太郎引受	横長	(1冊)
192/2	○未年間違もの改帳	天保10. 7 .		横長	(1冊)
192/3	○申の年間違物改帳	天保10. 7 .		横長	(1冊)
197	御上代々御奉書入			袋	1袋(2通)
197/1	○覚(熊野跡村と山論一件御糺合ニ付願書控)	辰(天保15)3 . 4	庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門殿・与頭衆中	豎継紙	(1通)
197/2	○覚(熊野跡村と山論一件御吟味ニ付願書下書)			豎紙	(1通)
198	代々御奉書 其外代々亭主名前書抜等いろいろ在中		熊野村荻野氏	袋	1袋 (1巻,2通)
198/1	○〔熊野村与頭彦右衛門外奉書継〕 18通を張継ぎ軸装したもの,すべて公用紙	(寛保3~明治5)	(彦右衛門・幸八・彦十郎・政吉・幸次郎・彦三郎)	卷子	(1巻)
198/2	○〔熊野村与頭彦右衛門外奉書写〕 奉書12通分を書写したもの	(寛保3~安政5)	(彦右衛門・幸八・彦十郎・政吉・幸次郎・彦三郎)	切継紙	(1通)
198/3	○〔熊野村与頭彦十郎外賞誉奉書継〕 26通		(彦十郎・政吉・幸次郎・彦三郎)	切紙継	(1通)
126	態申遣入(召喚状) 封筒入,公用紙使用	辰. 3 . 7	安芸郡御役所 熊野村組頭彦三郎	切紙	1通
196	誤書(貯米穀盗取ニ付)	文政 9 .12.24	浅平・泰助・良助 奥書 森屋惣助 海上秀太郎殿	豎継紙	1通
73	〔十月十日より十一日迄幾平広島行等ニ付覚書〕	10.10~ 11		横長	1冊
72	〔銀目録〕			横長	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
水利・普請					
177	御池こぶり諸入用人別割符帖 幸八組	延享 3.10.		横長	1冊
190	かい上樋居替時諸入用扣帖	安永 8.2.13		横長	1冊
181	海上池水割人別畝附帖	安永 8.2.14		横長	1冊
191	六月五日洪水川土手雨池等破損取繕夫積帖 写シ 賀茂郡津江村	寛政 8.7.	庄屋佐太郎 周参見新右衛門様・神尾惣兵衛様	竖冊	1冊
182	開城雨池水掛畝高書□ □ 表紙破損	文政 6.3.		横長	1冊
180	かい上水割之覚	文政11.		横長	1冊
189	大池ノ分帖面綴			綴	1綴(6冊)
189/4	○平過嘉居城土手切損普請入用帖	元治 2.3.~	樋守嘉居城	横長	(1冊)
189/3	○海城池水掛り畝割人別控	慶応元.3.~		横長	(1冊)
189/5	○嘉居城池土手損仕戻し入用仕分人別扣	慶応 2.正.12	樋守嘉居城	横長	(1冊)
189/6	○嘉居城池二ツ共土手損内堀り入用扣	明治元.閏4.~ 6.9		横長	(1冊)
189/1	○平杉嘉居城池土手地搗上置等普請入用帳	明治 6.10.	萩埜氏	横長	(1冊)
189/2	○嘉居城池土手締入用畝割人別帳	明治 7.2.10		横長	(1冊)
宗教					
233	専立寺ニ関する書類			包	1包(12冊)
233/5	○専立寺養子尚又借金其外万端門徒江一円相談無之跡村役人勝手次第之取計致候付駆引帳	天保14.8.~		横長	(1冊)
233/1	○賀茂郡熊野跡村真宗専立寺後住之儀当村門徒不居り合ニ付御願申上ル書附	天保14.12.	安芸郡熊の村専立寺旦頭幸次郎・同講頭惣助・同三右衛門	竖冊	(1冊)
233/9	○賀茂郡熊野跡村真宗専立寺後住之儀当村門徒不居り合ニ付御願申上ル書附	天保14.12	安芸郡熊の村専立寺旦頭幸次郎・同講頭惣助・同三右衛門	竖冊	(1冊)
233/11	○覚(専立寺後住之儀熊野村門徒不居合ニ付願書下書)	天保14.12	専立寺旦頭熊野村庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門殿・組頭衆中	竖冊	(1冊)
233/10	○附紙二而申上候(専立寺後住之儀熊野村門徒不居合ニ付願書附紙写)	(天保14.12)	幸次郎	竖冊	(1冊)
233/4	○専立寺養子一件ニ付御願申上ル書書扣	弘化元.(2.~ 弘化2.4.)		竖冊	(1冊)
233/2	○専立寺旦家并預り門徒人別控帳	弘化 2.3.吉		横長	(1冊)
233/3	○割庄屋野村金右衛門様・栃原村庄屋金蔵様・上瀬野村与頭七之助様専立寺後住一件ニ付富田へ御入込諸入用帖	弘化 2.5.16	熊野村隆兵衛	横長	(1冊)
233/12	○〔多家神社神武天皇祭趣意書〕 木版	明治 8.3.	祠官浅野孫夫	竖冊	(1冊)
233/7	○榊森社御神輿倉庫移転及ヒ庇新設材木寄附并諸入費帖	明治25.10.		横長	(1冊)
233/8	○専立寺西側門新設諸費及寄附人名帖	明治26.5.		横長	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
233/6	○稲荷社再建諸入費控帳	明治33.2.1	鍵守海城	横長	(1冊)
234	専立寺一件ニ附御吟味之節書付 外 ニいろいろ帳面るい在中 大切ニ致 候事	(弘化元~嘉永4)		包	1包(28通)
234/1	○覚(賀茂郡熊野跡村専立寺養子一件ニ 付御願申上ル書付 安芸郡熊野村 寺) 付紙あり	辰(弘化元)2.	専立寺旦頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿 奥書 庄屋祖平次・同市 郎左衛門 割庄屋野村金右衛 門殿	縦継紙	(1通)
234/8	○覚(賀茂郡熊野跡村専立寺養子一件ニ 付御願申上ル書附 安芸郡熊野村) 願書控壱番	辰(弘化元)2.22	専立寺旦頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿	縦継紙	(1通)
234/11	○覚(専立寺住職跡式養子一件ニ付口上 書)	(弘化元)		縦継紙	(1通)
234/19	○覚(専立寺養子一件ニ付口上書下書)	辰(弘化元)2.	幸次郎 庄屋	切継紙	(1通)
234/2	○覚(賀茂郡熊野跡村専立寺之義ニ付御 願申上ル書附 安芸郡熊野村 弐)	辰(弘化元)6.	専立寺旦頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿 奥書 庄屋祖平次・同市 郎左衛門 割庄屋野村金右衛 門殿	縦継紙	(1通)
234/9	○覚(賀茂郡熊野跡村専立寺一件ニ付御 願申上ル書附 安芸郡熊野村 二番 之書附扣)	辰(弘化元)6.	専立寺旦頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿	縦継紙	(1通)
234/12	○覚(専立寺養子一件願書下書) 安 芸郡熊野村	(弘化元)6.	幸次郎 庄屋兩人宛	縦継紙	(1通)
234/22	○覚(専立寺養子一件願書) 二番	辰(弘化元)6.	庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次 殿・同市郎左衛門殿	切継紙	(1通)
234/26	○覚(専立寺一件外入湯願事)	辰(弘化元)6.	同見習幸次郎 庄屋兩人宛	縦紙	(1通)
234/25	○覚(専立寺養子一件書付断簡)	(弘化元カ)		縦切紙	(1通)
234/4	○覚(当村庄屋見習幸次郎熊野跡村専立 寺懸り合追願書書付 安芸郡熊野村 三)	巳(弘化2)3.	専立寺檀頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿 奥書 庄屋祖平次・同市 郎左衛門 割庄屋野村金右衛 門殿	縦継紙	(1通)
234/3	○覚(専立寺養子一件懸り合追願書)	巳(弘化2)3.	専立寺檀頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿 奥書 両庄屋 割庄屋野 村金右衛門殿	縦継紙	(1通)
234/20	○覚(専立寺養子一件追願書下書) 安 芸郡熊野村	(弘化2)		縦紙	(1通)
234/5	○覚(当村庄屋見習幸次郎熊野跡村専立 寺懸り合再三御願書付 安芸郡熊野 村 四) 付紙あり	巳(弘化2)4.	専立寺檀頭庄屋見習幸次郎 庄屋祖平次殿・同市郎左衛門 殿 奥書 庄屋祖平次・同市 郎左衛門 割庄屋野村金右衛 門殿	縦継紙	(1通)
234/13	○覚(専立寺養子一件願書下書)	弘化2.4.	専立寺旦頭熊野村庄屋見習 庄屋	縦紙	(1通)
234/17	○覚(専立寺養子一件願書) 安芸郡 熊野村	弘化2.4.	専立寺旦頭熊野村庄屋見習幸 次郎 庄屋祖平次殿・同市郎 左衛門殿	縦継紙	(1通)
234/24	○覚(離旦御願書付) 安芸郡熊野村	弘化2.6.	専立寺旦頭熊野村庄屋見習幸 次郎 庄屋祖平次殿・同市郎 左衛門殿・与頭衆中	縦継紙	(1通)
234/23	○覚(専立寺養子一件ニ付離旦願書下 書) 安芸郡熊野村	(弘化2)		切継紙	(1通)
234/18	○覚(已来光福寺へ宗判受申度段御聞込 ニ付願書)	申(嘉永元)8.7.	幸次郎 割庄屋直太郎殿	縦継紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
234/16	○〔専立寺養子一件二付明年より八光福寺へ宗判仕度段願書下書〕 2枚	(嘉永元)		縦紙	(1通)
234/6	○覚(専立寺不帰依二付旦寺光福寺へ転寺願書下書) 安芸郡熊野村		庄屋	縦継紙	(1通)
234/21	○覚(拙寺旦家安芸郡熊野村庄屋見習幸次郎殿離旦被致度趣二付愁訴申上ル書付 熊野跡村真宗専立寺)	亥(嘉永4)7.	真宗専立寺真徹 庄屋幸太郎殿・同喜三八殿	縦継紙	(1通)
234/10	○覚(賀茂郡跡村専立寺へ帰旦之儀御答申上ル書付下書)	(嘉永4)7.		縦継紙	(1通)
234/15	○口上之覚(賀茂郡熊野跡村専立寺江帰旦之儀二付御答口上書)	亥(嘉永4)8.	熊野村庄屋見習幸次郎 割庄屋清水利兵衛殿	縦継紙	(1通)
234/14	○覚(専立寺へ帰旦之儀二付御答) 破損あり	亥(嘉永4)8.4	熊野村庄屋見習幸次郎 清水利兵衛殿	縦継紙	(1通)
234/7	○口上之覚(専立寺一件内済御願下之儀二付口上書下書)		専立寺旦頭熊野村庄屋見習幸次郎・同門徒惣代講頭同村三右衛門・同惣助	縦継紙	(1通)
234/28	○庄屋養次郎書翰(専立寺二而宗判御済せ訴一件書類うけとり二付)	.8.10	庄屋見習幸次郎殿	切継紙	(1通)
234/27	○〔寺檀一件願書断簡〕			切継紙	(1通)
184	安芸郡熊野村宗旨判形帳 光福寺	嘉永元.7.	光福寺法朗 庄屋市郎左衛門殿・同養次郎殿	縦冊	1冊
240	熊野跡村専立寺江帰旦一件二付書付一通并竹内亮左衛門殿 ^方 之書付 跡村役人中 ^方 之書付一通 専立寺 ^方 之書付 ^各 通 〳四通可有之候 紙帯で一括	嘉永4.8.		括	1括 (3通,1括)
240/1	○覚(熊野跡村専立寺安芸郡熊野村幸次郎離檀二付当宗旨判差問候趣申上添書付) 虫損あり	亥(嘉永4)7.	割庄屋竹内亮左衛門 かも郡御番組衆中様	縦継紙	(1通)
240/3	○当村専立寺旦家熊野村幸次郎宗判之義二付御歎申上添書付 賀茂郡熊野跡村	亥(嘉永4)7.	庄屋幸太郎・同喜十八 割庄屋竹内亮左衛門殿	縦紙	(1通)
240/2	○〔専立寺へ帰旦之義二付御答口上書下書〕 折り込んで一括			括	(1括)
240/2-1	○賀茂郡熊野跡村専立寺江帰旦之義二付御答口上書(下書)	亥(嘉永4)8.	熊野村庄屋見習幸次郎 割庄屋清水利兵衛殿	縦紙	
240/2-2	○口上之覚(専立寺へ帰旦之義二付御答口上書下書)			切継紙	
240/4	○賀茂郡熊野村専立寺へ帰旦之義二付御答口上書 ひかへ	亥(嘉永4)8.	熊野村庄屋見習幸次郎 割庄屋清水利兵衛殿	縦継紙	(1通)
238	〔海城幸次郎専立寺離旦一件書翰〕 反古紙に包んで紐で一括			包	1包(44通, 1括)
238/1	○幸次郎書翰下書(専立寺養子一件御上達二不相成様御取計振有御坐間敷哉)	.正.30	与右衛門様・幸太郎様・貞五郎様	切紙	(1通)
238/2	○佐々木泰太郎書翰(明日罷出万々申上度奉存候)	.正.18	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/3	○直次郎書翰(跡村専立寺離旦之義二付火急御示談二および申したき義有之) 包入(包は熊野村庄屋市郎左衛門・同養次郎・同見習幸次郎宛,包裹に「西七月廿四日晚直飛脚」とあり)	酉(嘉永2)7.24	庄屋見習幸次郎様	切紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
238/4	○口上(専立寺より帰旦之義被歎出候趣ニ付口上下書) 2枚			豎紙	(1通)
238/5	○覚(熊野村幸次郎一家宗旨判改証文) 包「広島寺町広福寺宗旨判之手形庄屋市郎左衛門殿 _カ 受取」入	嘉永3.8.	広福寺 庄屋市郎左衛門殿	豎紙	(1通)
238/6	○広福寺書翰(村約メ一件貴家計り之処ニ一応御約メ)	.5.23	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/7	○覚(私共井門徒共一統不居合一件頭書等下書)	.5.	割庄屋	切継紙	(1通)
238/8	○海上幸次郎書翰(私共専立寺離旦一件思召し通りには得不仕候)	.正.8	畠田重左衛門様・横山与左衛門様	切紙	(1通)
238/9	○覚(専立寺へ帰旦之儀御示談ニ付頭書下書)			切継紙	(1通)
238/10	○組頭健太郎書翰(専立寺寺檀之儀明日畑賀村へ御出浮ニ付)	申(嘉永元)7.23	幸次郎様	切継紙	(1通)
238/11	○庄屋養次郎書翰(土井公も御心痛ニ付市郎左衛門同道御出浮可被成) 別紙共2通	.7.23	庄屋見習幸次郎様	切継紙	(1通)
238/12	○広福寺書翰(贈答品礼状)	.正.16	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/13	○覚(専立寺帰旦歎願一件ニ付口上書下書)	酉(嘉永2)7.	見習幸次郎 割庄屋直太郎殿	切継紙	(1通)
238/14	○原村毎太郎書翰(宗判見届ケ頃合も近寄候ニ付専立寺へ帰旦方)	.6.29	熊野村幸次郎様	切継紙	(1通)
238/15	○[専立寺旦家熊野村幸次郎離旦一件ニ付御改書附他写] 裏にも文書あり	申(嘉永元)4.	真宗専立寺真徹様 庄屋与左衛門・幸太郎様 / 庄屋与左衛門・幸太郎 組合割庄屋脇八十八殿	切継紙	(1通)
238/16	○庄屋市郎左衛門・養次郎書翰控(幸次郎宗旨改メ判形下地之通り専立寺ニ而居合至り候ニ付)	.8.2	広福寺様	切継紙	(1通)
238/17	○[広福寺口上及海上幸次郎書翰控継] 2通の奥部を糊で貼り合せ			一括	(1括)
238/17-1	○口上(明日法坐執行ニ付御入来依頼)	.正.27	広福寺 海上幸次郎様	切紙	
238/17-2	○海上幸次郎書翰控(懸り合中ニ付埒明候迄八一円ニ得参詣不申)	.正.27	専立寺様	切紙	
238/18	○広福寺書翰(幸次郎拙寺旦家ニ相成り申候間いつれ宗旨判形不致候而は御大法相済不申) 包入	.8.1	熊野村庄屋市郎左衛門様・同養次郎様	切継紙	(1通)
238/19	○広福寺書翰(離旦一件役人不正之取計致候ニ付)	.8.5	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/20	○専立寺書翰(離旦之儀ニ付御断) 包入	.正.8	海上幸次郎様	切紙	(1通)
238/21	○広福寺書翰(熊野跡村孫左衛門災難氣之毒,離旦之事最年限故不苦)	.7.12	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/22	○祐四郎書翰(寺檀一条広島ニ而之様子畑賀土井親方へ書付差出し方ニ付)	.8.3	庄屋見習幸次郎様	切継紙	(1通)
238/23	○幸次郎書翰控(当年より離旦ニ付駈合状)	申(嘉永元)正.8	専立寺様	切紙	(1通)
238/24	○広福寺書翰(幸次郎宗判当年之処専立寺ニ而相調候一件理不尽押付候御取計無之哉) 包入	.8.3	熊野村庄屋市郎左衛門様・同養次郎様	切継紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
238/25	○割庄屋直太郎書翰(専立寺へ帰旦いたし貴度段脇八十八様より同人へ御願二付駈引状) 包入をさらに封筒入	西(嘉永2) . 6 . 22	熊野村庄屋見習幸次郎様	切紙	(1通)
238/26	○原村土井垣内每太郎・下見村新屋清太書翰(諸法要丈此節方御戻り合被下間敷哉) 封筒「広島寺町広福寺来状外二返事在中」入	. 7 . 27	熊野村海城幸二様	切継紙	(1通)
238/27	○態申遣入(御役所へ罷出可申) 包入, 公用紙使用	辰(弘化元) 2 . 7	安芸郡御役所 熊野村庄屋見習幸次郎	切紙	(1通)
238/28	○荻野彦三郎・悦太郎書翰下書(年甫御祝詞)	. 5	姓名様・御同名様	折紙	(1通)
238/29	○口上(報恩講二付参詣案内)	. 10 . 26	専立寺 海上幸次郎様	切紙	(1通)
238/30	○口上(集会執行等二付参詣案内)	. 6 . 8	専立寺 海上幸次郎様	切紙	(1通)
238/31	○割庄屋野間太兵衛書翰(百姓人数御しらへ之義御賞し筋二付) 裏に文書(離旦差縫れ一件取繕ひ願書下書, 西7月, 庄屋市郎左衛門・養次郎 直太郎様)あり	. 7 . 23	割庄屋直太郎様	切継紙	(1通)
238/32	○佐々木所左衛門書翰(御内話申置候一条御答振二付)	. 正 . 24	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/33	○割庄屋直太郎書翰(専立寺へ帰旦之義二付返答催促) 包入	. 6 . 24	熊野村庄屋見習幸次郎様	切継紙	(1通)
238/34	○覚(専立寺養子差縫一件公辺向へ不相濟候故居り合二付口上書下書)	. 5 .		切継紙	(1通)
238/35	○佐々木所左衛門書翰(専立寺一条御勘考振御聞せ被下度)	. 正 . 22	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/36	○金蔵書翰(御山所故障一件貴答之御様子御聞せ可被下)	. 3 . 7	熊野村庄屋養次郎様	切紙	(1通)
238/37	○広福寺書翰(幸次郎宗判当年之处専立寺二而相調候一件理不尽押付候御取計無之哉)	. 8 . 3	庄屋市郎左衛門様・同養次郎様	切継紙	(1通)
238/38	○幸次郎書翰手控(帰旦不仕候二付御同役脇八十八様へ可然様御取繕ひ方依頼)	. 6 . 24	割庄屋直太郎様	切継紙	(1通)
238/39	○広福寺書翰(わらび沢山被下候二付礼状)	. 4 . 9	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/40	○広福寺書翰(其村庄屋へ返書申遣候二付)	. 8 . 3	海上幸次郎様	切継紙	(1通)
238/41	○与左衛門書翰(専立寺養子一件広島へ被罷出候幸太郎様御紙面拝見被致可申)	. 正 . 30	幸次郎様	切紙	(1通)
238/42	○割庄屋野村金右衛門書翰(差向御面談申度儀御座候) 包入	. 4 . 27	熊野村庄屋見習幸次郎様	切継紙	(1通)
238/43	○海上幸次郎書翰(拝納仕候御扇子御返申候) 43~45は一括	. 2 . 2	専立寺様	切紙	(1通)
238/44	○熊野村海上幸次郎書翰(専立寺へ諸法要丈戻り合呉候様被仰聞候一件俄二考附不申)	. 7 . 27	土居垣内每太郎さま	切継紙	(1通)
238/45	○下見村清太郎書翰(専立寺一件今日兩名二而又々書面差上申候) 43~45は一括	. 7 . 27	熊野村幸次郎様	切紙	(1通)
130	専立寺一件書付 尚又帖面在中 中身なし, 「安芸郡熊野村宗旨判形帳 光福寺」(嘉永元)の反古紙使用			包	1包

番号	表題	年代	作成	形態	数量
179	稻荷堂建立諸入用帳	安永3.9.		横長	1冊
216	階石燈籠寄進二付何角諸事控		庄屋富田謙治郎, 社倉十人組頭取・組頭兼帯当嘉居城彦三郎外村役人15名	横長	1冊
家(日記)					
195	懷中必用録	文久元.9.	熊野村彦三郎	小横半	1冊
家(香典帳)					
55	〔香奠帳綴〕			綴	1綴(4冊)
55/3	○与吉遠行之時御悔ミ旁御見拝香料帖	寛政10.8.11		横長	(1冊)
55/2	○彦十郎病死之刻御悔御香奠帳	文化元.5.9		横長	(1冊)
55/4	○政助死去之時御悔香奠帖 夜亥上刻死ス 年齢十四歳	文化14.10.7	海上	横長	(1冊)
55/1	○秀太郎母親病死之刻御悔御香奠帳	文政8.7.24		横長	(1冊)
56	父親死去之時御悔御香料帳	文政11.11.22	海上幸次郎	横長	1冊
57	幸次郎妻死去之刻御香奠扣帳 奥海田村神主宗像氏ヨリ来ル 俗名於よね 行年十九歳ニ而死ス	天保4.正.25		横長	1冊
58	幸次郎悴八郎病死之刻悔香奠控帳	天保13.霜.22	海上	横長	1冊
59	幸次郎妻死去之刻御香奠人別控帳 奥海田村神主宗像氏ヨリ来ル 俗名於仲 行年廿三歳ニ而死ス	天保14.正.11	荻野氏	横長	1冊
60	幸次郎妻死去之時御香奠控帳 夜四ツ時死ス 行年廿三歳	天保14.正.11	海上	横長	1冊
61	父親死去之時香奠控帳	嘉永6.10.10	海上彦三郎	横長	1冊
64	幸次郎悴熊三郎病死之刻香奠扣帳 行歳八才ニ而	嘉永7.3.朔	熊野村嘉居城	横長	1冊
63	幸次郎娘おやすとの病死之刻御悔香奠帳 行歳六才	嘉永7.3.26	帳場	横長	1冊
62	幸次郎娘おたけとの病死之刻御悔香奠料帳 行歳三才	嘉永7.5.朔	嘉居城帳場	横長	1冊
65	秀太郎殿妻遠行之節香典帖	元治元.7.21	嘉居城帳場	横長	1冊
66	於順殿病死之砌恩悔香典帳 夜四ツ時行年六歳ニ而卒	慶応2.6.4	嘉居城帳場	横長	1冊
67	俗名於仲事釈妙専廿五廻忌相当到来物控 但来卯正月十一日正当之处取越し相嘗	慶応2.霜.11		横長	1冊
68	荻野彦三郎殿妻病死之砌御悔香料帳	明治4.10.21	帳場	横長	1冊
家(その他)					
165	祝詞(家内安全) 包入	慶応3.3.10	斎主大宮司河内守従五位下藤原朝臣正経	竖冊	1冊
166	いミなをおこすふみにもふさく(秀太郎諱姓氏字占)	文政3.5.中午	結城勘左衛門源光啓 扇山秀太郎殿	竖継紙	1通
122	〔和歌〕			袋	1袋 (3通, 2枚)
122/1	○嘉居城なる家の遠つ御祖たちを神ほきたてまつるとて		正経	竖切紙	(1通)
122/2	○弥生けふ祭れる神は		正経	竖切神	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
122/3	○初翁賀に		直光	短冊	(1枚)
122/4	○寄菊祝		直修	短冊	(1枚)
122/5	○萩の主人の福老とて祝		しなと	切紙	(1通)
80	小嶋半蔵貞福書翰(甫年御祝詞) 封筒入	.正.5	頼万四郎	切継紙	1通
83	春山書翰(孝義伝料,半檀之義返呈遅延他)	.8.17	杏坪先生	切継紙	1通
241	[海上宛請取・算用書継]			切紙継	1継(4通)
241/1	○覚(しゅす代等受取)	丑.10.11	世良屋直次 海上様	切紙	(1通)
241/2	○覚(あらめ代銀請求)	.10.12	中みぞ城日屋 海上御長場	切紙	(1通)
241/3	○覚(青粉等代銀受取)	丑.10.11	向胡屋	切紙	(1通)
241/4	○覚(こん紙代等算用)	.10.11	まや店 海上様	切紙	(1通)
241/5	○覚(八歩板代請求)	丑.10.11	富田 海上様	切紙	(1通)

聞書

7	大坂市中乱妨徒党之者御仕置捨札之 写其外始末 写本,後欠	(天保8)		豎冊	1冊
---	------------------------------------	-------	--	----	----

2 近代

土地

204	[安芸郡熊野村字宮前量地野取裏帳]			括	1括(3綴)
204/1	○字宮前野取裏帳 甲	明治9.		綴	(1綴)
204/1-1	○字宮前野取後書 第壹番			横半	
204/1-2	○字宮ノ前野取裏帖 第貳番			横半	
204/1-3	○字宮前野取裏書 第三番 友重 良蔵宅地迄			横半	
204/1-4	○安芸郡熊野村野取裏帖 第壹番 但雲母 字宮前	明治9.2.		横半	
204/1-5	○雲母裏帖 第貳号 字宮前			横半	
204/1-6	○宮前野取裏帳 第三号 但雲母			横半	
204/1-7	○宮前野取裏書帳 第四号 但シ 雲母			横半	
204/2	○[字宮前野取裏帳] 乙			綴	(1綴)
204/2-1	○宮前野取裏書帳 第五号 但雲 母			横半	
204/2-2	○字宮前裏書 第六号 但雲母			横半	
204/2-3	○字宮前野取裏書 宮尾惣八郎宅 東小町ヨリ初メ			横半	
204/3	○[字宮前野取裏帳] 丙			綴	(1綴)
204/3-1	○字宮前野取裏書 八印第貳号	明治9.3.		横半	
204/3-2	○字宮前野取裏帳	明治9.3.1		横半	
204/3-3	○野取裏書帳 但シ善三郎宅ノ下 方坂ノ御堂室ノ山下馬所筋弥右 衛門宅之西昌迄			横半	
205	[安芸郡熊野村字時光量地野取裏帳]			括	1括(2綴)
205/1	○時光字野取裏帖 甲	明治9.		綴	(1綴)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
205/1-1	○時光野取裏書 第一号	明治9.3.		横半	
205/1-2	○安芸郡□ □(第二号)			横半	
205/1-3	○〔時光野取裏書 第三号〕			横半	
205/2	○時光字野取裏帖 乙	明治9.		綴	(1綴)
205/2-1	○〔時光野取裏書 第四号〕			横半	
205/2-2	○〔時光野取裏書 第五号〕			横半	
205/2-3	○〔時光野取裏書 第六号〕			横半	
207	〔海上野取裏書 イ口八印〕			綴	1綴(3冊)
207/1	○字海上□ □百三冊之内百(海上字野取裏帖 甲 イ印) 表紙破損			横半	(1冊)
207/2	○海上字野取裏帖 乙 口印三号 同四号 同五号	明治9.		横半	(1冊)
207/3	○海上野取裏書 八印 第叁号 丙			横半	(1冊)
206	〔海上野取裏書 二印〕			綴	1綴(3冊)
206/1	○海上野取裏書 二印字宮林 第壹番	明治9.		横半	(1冊)
206/2	○字宮林野取裏書 二印 第貳号	明治9.3.		横半	(1冊)
206/3	○字宮林野取裏書 二印 第三号	明治9.3.		横半	(1冊)
208	〔字向田野取裏書綴〕			綴	1綴(4冊)
208/1	○字向田野取裏書 第壹号	明治9.3.		横半	(1冊)
208/2	○字向田野取裏書 第貳号	明治9.3.		横半	(1冊)
208/3	○字向田野取裏書 第三号	明治9.3.		横半	(1冊)
208/4	○字向田野取裏書 第四号	明治9.3.		横半	(1冊)
209	時数野取裏帖 第壹番			横半	1冊
210	山王野取裏帖	明治9.		横半	1冊
211	地処分裂届模形・委任状之模形	(明治29)		豎冊	1冊
212	〔新宮原反別帳〕		荻野八十平	豎冊	1冊
217	〔熊野村新宮原反別帳〕 明治19年4月10日の書き入れあり		広島県安芸郡熊野村新宮原荻野八十平	豎冊	1冊
235	〔共有山地租関係帳綴〕			綴	1綴 (2冊,1通)
235/1	○平杉表ノ山・奥平・笹ヶ平・其他 共有山地租并諸費算用帖	明治21.2.	共有惣代人海城彦三郎	横半	(1冊)
235/2	○明治十八年五月卅一日限り徴収金 賦課方左之通			一紙	(1通)
235/3	○共有地々租其他諸賦課控			横長	(1冊)
237	一村共有山貸与料金徴収台帖	(明治31・32)		豎冊	1冊
214	一村共有山貸与料金取立帖	明治32.3.25	新宮区長海上彦三郎	横長	1冊

水利・普請

189/1	○平杉嘉居城池土手地搦上置等普請 入用帳	明治6.10.	荻埜氏	横長	(1冊)
189/2	○嘉居城池土手締入用畝割人別帳	明治7.2.10		横長	(1冊)
188	〔池入費関係帳綴〕			綴	1綴
188/1	○平過大池小損取繕入費控帳	明治7.8.	樋守荻埜彦三郎	横長	(1冊)
188/2	○海上大池・山ノ神海上池明治七年 ヨリ九年迄入費畝割取立帳	明治12.4.	樋守荻埜彦三郎	横長	(1冊)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
186	大旱魃ニ付嘉居城池水畝割充水反別帳	明治9.7.28	樋守荻埜彦三郎	横長	1冊
187	平杉新池諸算用控帖	明治11.12.		横長	1冊
178	平杉井手水割ノ覚 但五番ニ回ル事 海城控			横半	1冊
奉書・辞令					
125	明治十年以降奉書在中 但シ明治十年九州地方動擾之際悦太郎出張勲励ニ付賞金御奉書其他彦三郎奉書とも			包	1包
148	〔勤学係辞令〕	明治6.3.	庶務課 荻野彦三郎	一紙	1通
98	〔勤学係解任辞令〕	明治7.9.	庶務課 荻野彦三郎	一紙	1通
97	〔五小区熊野村総代人辞令〕 封筒「会議所 荻野彦三郎殿」入,別紙出頭命令書(7.23,五小区扱所)を封筒に貼付	明治10.7.17	第三大区会議所 五小区熊野村荻野彦三郎	一紙	1通
94	〔五小区総代人辞令〕 封筒「戸長役場 荻野彦三郎殿」入	明治10.7.21	第三大区会議所 五小区熊野村荻野彦三郎	一紙	1通
147	〔地租改正米価取調委員辞令〕	明治11.2.7	第三大区会議処 地等三ノ与合議員荻野彦三郎	一紙	1通
135	〔五小区総代人解任辞令〕 封筒「安芸郡役所 荻野彦三郎」入	明治11.5.27	第三大区会議所 五小区総代人荻野彦三郎	一紙	1通
121	〔熊野村学務委員認締書〕 封筒「第三大区会議所 荻野彦三郎殿」入	明治13.3.22	広島県 荻埜彦三郎	一紙	1通
119	県布達甲第六拾五号・第六拾六号(学務委員職制章程) 活版	明治13.4.17	広島県令千田貞暁代理広島県大書記官平山靖彦	縦冊	1冊
89	県布達甲第百拾五号(学事ニ関ル諸願伺届等八学務位印連署ノ上可差出旨) 活版,封筒「熊野村戸長佐々木亮之輔 学務委員荻野彦三郎殿」入	明治13.6.19	広島県令千田貞暁代理広島県大書記官平山靖彦	一紙	1通
99	〔傭使年棒金辞令〕	明治13.10.	安芸郡熊野村戸長役場(公印) 傭使海城彦三郎	一紙	1通
116	〔学務委員ニ付内達書〕 木版2枚,封筒「安芸郡役所 学務委員海城彦三郎殿」入	明治14.9.20	安芸郡長沢原為綱 熊野村学務委員海城彦三郎	一紙	1通
95	〔県甲第二百七十三号布達に付内達〕 木版刷	明治14.12.9	安芸郡長沢原為綱 戸長学務委員	一紙	1通
93	〔傭使解任辞令〕 封筒「戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治14.9.27	戸長役場 新宮組傭使海城彦三郎	一紙	1通
96	〔召喚状〕 封筒「戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治14.10.8	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
128	〔新宮原組受辞令〕	明治14.10.10	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
132	〔安芸中学校々務委任ニ付照会状〕 封筒入	明治15.2.2	学務専任書記豊田実穎・同友井喜三太 熊野村学務委員海城彦三郎殿	一紙	1通
88	〔熊野村学務委員退職認可ニ付達書〕 封筒「安芸郡役所 熊野村海城彦三郎」入	明治15.3.20	広島県 海城彦三郎 戸長佐々木亮之輔 海城彦三郎殿	綴	1綴
131	〔学務委員年棒金支給辞令〕 封筒「安芸郡熊野村戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治16.5.31	安芸郡熊野村役場(公印) 学務委員海城彦三郎殿	一紙	1通
112	〔諦認書及賞状〕		戸長役場 海城彦三郎殿	封筒	1袋(2枚)
112/1	○〔榊森新宮社総代費と諦認書〕	明治15.6.	戸長役場 海城彦三郎	一紙	(1枚)
112/2	○〔受組徴収金完納尽力ニ付賞状〕	明治19.11.11	戸長佐々木亮之輔 新宮組頭兼使部開場彦三郎	一紙	(1枚)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
101	〔安芸郡第十五小学区学務委員辞令〕 封筒「安芸郡役所 学務委員海城彦三郎殿」入	明治16.5.23	広島県 海城彦三郎	一紙	1通
107	〔備使事務殊勝二付賞状〕 封筒「戸長役場 備使海城彦三郎殿」入	明治16.7.4	安芸郡熊野村役場(公印) 備使海城彦三郎	一紙	1通
86	〔新宮組受備使辞令〕	明治16.10.3	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
263	〔安芸郡第十五小学区学務委員解任辞令〕 封筒「広島県 安芸郡熊野村海城彦三郎殿」入	明治17.4.8	広島県 海城彦三郎	一紙	1通
108	〔新宮組備使解囑辞令〕 封筒「戸長役場 海城彦三郎殿」入、「安芸郡熊野村役場印」あり	明治17.6.19	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
106	〔備使残務取扱法申達書〕 「安芸郡熊野村役場印」あり	明治17.6.19	戸長役場 故備使海上彦三郎	罫紙	1通
113	〔新宮組長辞令〕 封筒「広島県安芸郡役所 熊野村海彦三郎殿」入	明治18.7.1	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
133	〔新宮組長辞令請書提出二付申達書〕 封筒「安芸郡熊野村戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治18.7.1	熊野村戸長役場 新宮組長海城彦三郎	罫紙	1通
92	〔辞令〕		戸長役場 海城彦三郎殿	封筒	1袋(2通)
92/1	○〔手当金支給辞令〕	明治18.7.1	熊野村戸長役場 新宮組長海城彦三郎	罫紙	(1通)
92/2	○〔年俸金辞令〕	明治17.1.	戸長役場 備使海上彦三郎	一紙	(1通)
115	〔熊野村戸等評定委員当選通知〕 封筒「熊野村戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治19.3.20	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
118	〔新宮組長手当金通知〕 封筒「安芸郡熊野村戸長役場 新宮組長海城彦三郎殿」入	明治19.6.1	熊野村戸長役場 新宮組長海城彦三郎	一紙	1通
120	〔悪疫予防世話係依囑辞令〕 封筒「安芸郡熊野村戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治19.6.7	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
90	〔伝染病予防世話役依囑辞令〕 封筒「戸長役場 備使海城彦三郎殿」入	明治19.6.16	安芸郡役所 海城彦三郎	一紙	1通
104	〔熊野村使部辞令〕	明治19.10.9	熊野村戸長役場 新宮組長海城彦三郎	罫紙	1通
102	使部心得書	明治19.10.9	熊野村戸長佐々木亮之輔	豎冊	1冊
105	〔兵士優待世話係辞令〕 封筒「戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治20.7.	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
114	〔兵士行軍之節待遇周旋係辞令〕 封筒「安芸郡熊野村戸長役場 海城彦三郎殿」入	明治22.3.3	熊野村戸長役場 海城彦三郎	一紙	1通
136	〔県会議員選挙熊野村分会立会人決定通知〕 封筒「安芸郡長栗原幹 熊野村海城彦三郎殿」入	明治24.5.11	安芸郡長栗原幹 熊野村海城彦三郎殿	罫紙	1通
110	〔露国皇太子遭難見舞二付伝達〕	明治24.5.25	安芸郡長栗原幹 海城彦三郎殿	一紙	1通
100	〔兼会議員選挙熊野村分会立会人決定通知〕	明治25.2.19	安芸郡長栗原幹 熊野村海城彦三郎殿	罫紙	1通
111	〔新宮区衛生組合組長認可通知〕 封筒入	明治32.10.26	熊野村助役世良実三郎 熊野村海城彦三郎殿	罫紙	1通
103	〔熊野村戸長役場封筒〕 中身なし		安芸郡熊野村戸長役場 海城彦三郎殿	封筒	1袋
91	〔戸長役場封筒〕 中身なし		戸長役場 海城彦三郎殿	封筒	1袋
127	〔庶務課封筒〕 中身なし		庶務課荻野彦三郎殿	封筒	1袋

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
129	〔広島県封筒〕 中身なし		広島県 海城彦三郎	封筒	1袋
134	〔第三大区租税掛封筒〕 中身なし		第三大区租税掛(公印) 荻野彦三郎	封筒	1袋
救恤・寄付					
213	仕法潤殖米算用并二貸付算用書抜帳	明治6~		横長	1冊
194	見取米金并二十年免割過金・社倉麦利子出金等・仕法潤殖米金卜郷蔵売払代金・九年丈量費差引過明治十七年迄元利算用帳	(明治9~17)		横長	1冊
218	社倉初穀差引算用帖 宮ノ前側受	明治14~19暮		横長	1冊
219	社倉初米穀借請算用帖 新宮組	明治14.4.		横長	1冊
222	社倉初穀借請并貸付附算用帖 榊森神社氏子惣代御中宛安芸郡維持金取纏委員封書附屬	明治14.4.~	海城彦三郎	横半	1冊
220	社倉麦穀米渡方請記綴	明治16.11.	荻野新兵衛外43名寺田国易外2名	縦冊	1綴
221	社倉初穀二関スル書類・社倉麦穀配賦請取書類・其外之書類 中身なし			袋	1袋
87	〔道路改築費寄附二付賞状〕	明治13.11.25	広島県 荻野彦三郎	一紙	1通
215	新宮区中津橋寄附人名帖	明治25.正.		横長	1冊
233/6	○稻荷社再建諸入費控帳	明治33.2.1	鍵守海城	横長	(1冊)
233/12	○〔多家神社神武天皇祭趣意書〕 木版	明治8.3.	祠官浅野孫夫	縦冊	(1冊)
242	〔榊森神社普請一件書類一括〕			括	1括 (4綴,1冊)
242/1	○〔氏神榊森神社普請之義二付御願控工外綴〕	明治15.3.	氏子代理 富田謹一郎外22名 戸長佐々木亮之輔殿	綴	(1綴)
242/2	○〔榊森神社普請之義臨時村会ニ於テ決議二付通達綴〕		戸長佐々木亮之輔代理筆生 佐々木敬三郎 新宮組備使	綴	(1綴)
242/2-1	○氏神榊森神社普請之義二付御願	明治15.3.	氏子代理 富田謹一郎外22名 戸長佐々木亮之輔殿	縦冊	
242/2-2	○榊森神社修繕并幣殿建増普請目論見帖	明治15.3.		縦冊	
242/2-3	○氏神榊森神社普請之義二付御願	明治15.3.	氏子代理 富田謹一郎外22名 戸長佐々木亮之輔殿	縦冊	
242/2-4	○榊森神社修繕并幣殿建増普請目論見帖	明治15.3.		縦冊	
242/3	○氏神榊森神社普請之義追願	明治15.	安芸郡熊野村氏子惣代人富田謹一郎外5名 戸長佐々木亮之輔殿	縦冊	(1冊)
242/5	○〔氏神榊森神社普請之義二付御願外綴〕	明治15.3.	氏子代理	綴	(1綴)
242/4	○〔榊森神社普請之義二付上申控工外綴〕	明治16.5.	氏子惣代富田謹一郎外5名 戸長佐々木亮之輔殿	綴	(1綴)
233/7	○榊森社御神輿倉庫移転及七庇新設材木寄附并諸入費帖	明治25.10		横長	(1冊)
236	明治十六年幣殿・拜殿再建二付大被執行諸入費帖	明治20.旧10.9	富田亦三・海城彦三郎	横長	1冊
123	出崎森神社由緒略記 活版	昭和32.3.30	出崎森神社祀職第五十三代宮司宗像久男	一紙	1部

番号	表題	年代	作成	形態	数量
124	出崎森神社壹千貳百五十年祭趣意書 活版	昭和32.3.30	出崎森神社祀職第五十三代宮 司宗像久男外17名 氏子崇 敬者殿	一紙	1部
233/8	○専立寺西側門新設諸費及寄附人名 帖	明治25.5.		横長	(1冊)
家(記録)					
228	懐中万覚帳	明治6.1.吉辰	五小区荻野奥太郎	小横半	1冊
229	懐中日記帳	明治8.1.吉祥	広島県安芸郡第三大区第五小 区熊野村荻埜元亨	小横半	1冊
230	万覚帳	明治30.1.吉祥	海城氏	横長	1冊
231	諸雑録	明治31.正.吉祥	海城氏	横長	1冊
232	万覚帳	明治32.正.吉祥	海城	横長	1冊
家(経済)					
243	日下恵(字屯田・山王・時数・宮前・海 上地並帖外) 「海城氏授ル」とあり	明治9.	(ママ) 広島県官下第三大区五小区熊 野村菅田亦三	小横半	1冊
199	金殻帳	明治10.1.吉祥	荻埜	横半	1冊
202	得意方売立帖	明治12.2.~		横半	1冊
193	明治十一年ヨリ明治十七年暮迄總算 用根帳	明治17.9.		横長	1冊
201	売物々品并代米控帖	明治22.旧9.21 ~旧10.25		横長	1冊
265	荻野元三郎初メ頼母子人別并口数ひ か系	明治25.11.写	海城氏	横半	1冊
71	牛馬屋建築諸入費控帳	明治26.5.	海城	横長	1冊
203	諸物品糶売人名控帖	明治28.旧2.6 ~旧10.20		横長	1冊
200	物品糶売書出人名帖	明治28.旧11.	海城	横長	1冊
家(香典帳)					
69	彦三郎二女ふ美死去砌香典帖	明治6.10.3		横長	1冊
70	於東京府病院荻埜悦太郎殿病死二附 御悔御香典帳	明治12.7.5		横長	1冊
227	海城他人男殿父彦三郎殿病死之砌御 悔香奠	明治36.4.12	帳場	横長	1冊
226	香奠帳 海城ツネ	大正13.11.14		横長	1冊
225	海城他人男殿参なん淳氏昭和十三年 十月十三日午前一時三十五分兵庫 武庫郡鳴尾村ニテ病死於郷里熊野帳 昭和十三年十二月十七日納骨式举行 ノ砌玉串料等控帳 行年廿二歳	昭和13.12.17	帳場	横長	1冊
家(荻野悦太郎)					
159	〔陸軍士官学校検査通知書〕		陸軍士官学校召募生徒検査官 蒼手町木村禎造方荻野悦太 郎殿	封筒	1袋(2通)
159/1	○〔身体検査通知書〕	明治8.10.30	陸軍士官学校召募生徒検査官 陸軍大佐武田成章 荻埜悦太 郎殿	一紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
159/2	○〔学科検査通知書〕	明治 8.11.1	陸軍士官学校召募生徒検査官 陸軍大佐武田成章 荻埜悦太郎殿	一紙	(1通)
160	〔陸軍士官学校検査通知書等〕		陸軍士官学校召募生徒検査官 茸手町木村禎造方荻野悦太郎殿	封筒	1袋(3通)
160/1	○〔英学検査通知書〕	明治 8.11.17	陸軍士官学校召募生徒検査官 陸軍大佐武田成章 荻埜悦太郎殿	一紙	(1通)
160/2	○〔荻埜悦太郎履歴〕	明治11.1.29	荻埜悦太郎	一紙	(1通)
160/3	○〔警視第五方面第二署四等巡查荻野悦太郎巡查名札〕	明治 9.10.17	警視庁第一局(印)	一紙	(1通)
157	〔荻野悦太郎履歴等〕			括	1括(2通)
157/1	○屯出之履歴写(荻野悦太郎)			一紙	(1通)
157/2	○〔元治元甲子長州御成敗ニ附御出陣先鋒御人数御出張之節御用人夫繰出し方取計ニ付御誉御奉書写附紙〕			一紙	(1通)
162	〔出署命令書〕	.5.16	東京警視第五方面第二分署 荻野悦太郎殿	警視	1通
155	〔四等巡查辞令〕	明治 9.7.29	警視庁 荻野悦太郎	一紙	1通
149	〔遅刻ニ付進退伺書及び呵責通達〕 進退伺書の奥に朱書で「呵責」通達(明治9.10.12公印)あり	明治 9.10.6	警視第五方面第二署詰甲ノ部 四等巡查荻野悦太郎	一紙	1通
139	〔交番所当直見張中睡眠ニ付進退伺及び罰金通達〕 進退伺書の奥に朱書で「罰金」通達(明治10.1.17公印)あり	明治 9.12.29	第五方面第二署詰甲四等巡查 荻野悦太郎	一紙	1通
154	〔三等巡查辞令〕	明治10.4.2	警視局 四等巡查荻野悦太郎	一紙	1通
144	〔鹿児島警視出張所第一課辞令添書〕(明治)10.11.14		鹿児島警視出張所第一課 三等巡查荻野悦太郎殿	三切紙	1通
151	〔荻野悦太郎巡查関係辞令〕			括	1括(7通)
151/1	○〔警部補代理心得辞令〕		三等巡查荻埜悦太郎	一紙	(1通)
151/2	○〔甲之部へ編入辞令〕		三等巡查荻埜悦太郎	一紙	(1通)
151/3	○〔丙之部江編入辞令〕		甲三等巡查荻埜悦太郎	一紙	(1通)
151/4	○〔第五方面第二署詰甲之部辞令〕		四等巡查荻野悦太郎	一紙	(1通)
151/5	○〔丙之部編入辞令〕	(明治)11.4.29	三等巡查荻野悦太郎	一紙	(1通)
151/6	○〔第二方面上方限警視署詰辞令〕		三等巡查荻野悦太郎	一紙	(1通)
151/7	○〔宿長補辞令〕		三等巡查荻野悦太郎	一紙	(1通)
156	〔学校建設費寄附ニ付賞状〕	明治11.4.30	鹿児島県 警視局荻埜悦太郎	一紙	1通
152	〔三等巡查解任辞令〕	明治11.12.28	警視局 三等巡查荻埜悦太郎	一紙	1通
153	〔満二年勤続賞状〕	明治12.1.16	警視局 荻埜悦太郎	一紙	1通
146	〔九州地方騒擾之際警備出張尽力ニ付賞金下賜状〕	明治13.4.	中警視石井邦猷 元三等巡查 荻埜悦太郎	一紙	1通
138	〔元三等巡查荻野悦太郎西南の役警備従軍賞誉ニ付通達書〕 熊野村役場宛て安芸郡長沢原為綱の通達書写を添付	明治13.8.4	(安芸郡熊野村)戸長役場 荻野彦三郎殿	一紙	1通
117	〔荻野悦太郎履歴下書〕			罫紙	1通
150	履歴(漢・洋・英学)			罫紙	1通
141	〔悦太郎在京中奉書包紙〕 中身なし、裏「山県郡加計村土居河内新助内高橋辰三郎辞令書其外要用書」			包	1包
137	〔荻野悦太郎履歴票等〕	明治10.12.2		括	1括(2通)
137/1	○履歴(下書)	明治 9.11.	荻野悦太郎	一紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
137/2	○書留郵便物請取証	明治10.8.	鹿児島県ニテ東京警視出張第五小隊第一分隊荻野悦太郎 広島県三大区五小区熊野村荻野彦三郎	一紙	(1通)
161	荻野悦太郎書翰(十一日東京乗船,十日長崎着) 2枚,包「長崎船津町三吉屋若助方ニテ荻野悦太郎 広島県第三区五小区熊野荻彦三郎様」入	(明治10)7.16	長崎県長崎町船津町三吉屋若助方第五小隊第一分隊荻野悦太郎 尊父様	一紙	1通
143	荻野悦太郎書翰(鹿児島着ニ付) 包入	(明治10)7.24	在鹿児島出張所荻野悦太郎 父上様	切継紙	1通
163	荻野悦太郎書翰(伍長拜命国分郷敷根出張所事務取扱,賊徒情勢風聞) 3枚,封筒「鹿児島県下敷根郷警視出張所詰荻野悦太郎 広島県第三大区五小区熊野荻彦三郎殿」入	明治10.8.12	鹿児島県第六十一大区一小区敷根郷「国分警視分署」敷根出張所詰荻野悦太郎 御父上様	一紙	1通
145	荻野悦太郎書翰(賊徒延岡脱出,鹿児島到着) 包「鹿児島県下国分郷警視分署荻野悦太郎 (広島)県第三大区五小区荻彦三郎様」入	明治10.9.16	鹿児島県下国分郷国分々署荻野悦太郎 父上様	縦継紙	1通
78	荻野悦太郎書翰(西郷等戦死,治定ニ付報知) 2枚,封筒「国分警視分署福山派出所詰荻野悦太郎 広島県第三大区五小区熊野荻彦三郎様」入,書翰写真2葉あり	明治10.9.25	福山警視派出所荻野悦太郎 父上様	一紙	1通
142	荻野悦太郎書翰(風邪ニ罹リ加治木病院へ入院) 2枚	明治10.10.24	鹿児島県警視病院ニテ荻野悦太郎 父上様	折紙	1通
85	荻野悦太郎書翰(病気漸々快方ニ付,報知借財支払方ニ付) 封筒「(鹿児島)県第二方面[]限警視所詰荻野悦太郎 広島県第三大区五小区熊野村荻彦三郎様」入	明治10.12.2	鹿児島警視病院ニテ荻野悦太郎 尊父様	切継紙	1通
140	[荻野悦太郎書翰等]		(鹿児島上方)限警視署詰荻野悦太郎 広島県第三大区五小区熊野荻彦三郎様	包	1包 (3通,1枚)
140/1	○荻野悦太郎書翰(病気全快,去る十四日退院)	明治10.12.17	鹿児島上方限警視所詰荻野悦太郎 尊父様	一紙	(1通)
140/2	○履歴(荻野悦太郎)			一紙	(1通)
140/3	○〔鹿児島湾岸略図〕			一紙	(1枚)
140/4	○一ノ分隊(名簿)			一紙	(1通)

家(書翰)

79	津村正五郎書翰(節句過ぎ好天気見合せ推参加致ニ付)	.9.6	開城幸次郎様	一紙	1通
81	津村正五郎書状(此間之御報委細承知,十四日之事先差当り差問無之)	.9.11	海城幸次郎様	切紙	1通
77	荻野謹吾郎書翰(市飯田入江御持参ノ別紙送附) 別紙共2枚,封筒「当家新左衛門苗代村庄屋役相勤居節年号書在中」(宝永三年ヨリ正徳二十三年迄)入	(昭和17カ)2.26	広島市ニテ海城様	一紙	1通
82	某書翰(菲薄之品御笑納奉希上候)	.9.25		一紙	1通
75	奥海田村宗像宗像久男書翰(御尋ねの津田岳・津田直誼詩文ニ付) 封筒入	.7.28	海城他人男様	綴	1綴
84	宗像久男氏の詩の読方(文化年間頃広島藩士津田岳氏荻野滞在中の作) 8通,封筒入			罫紙等	1通
158	櫻井千作書翰(当益前御取次被下候三拾目借之分算用大延引)	.10.1	甲立屋権六様	切継紙	1通

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
74	某書翰下書(給与為替ニテ送金相成候様仕度依頼他)			横長	1冊
76	〔細田保太郎書翰封筒〕 中身なし	昭和41.4.2	檀原市今井町本町細田保太郎 広島県安芸郡熊野町新宮海城他人男様	封筒	1袋
家(その他)					
264	〔荻野御うじには鬼門に白桃を植給ふニ花のきさしあるを祝しまいらせて一章を奉る句〕		悠々舎	一紙	1通
164	南木公贊写			一紙	1点
266	平壤大激戦我軍大勝利(錦絵) 多色刷木版画, 35.2cm × 45.9cm			一紙	1枚
167	明治三十三年庚子年星廻り独占 木版	明治32.5.20発行	著作兼印刷発行者大阪市北区大工町宮崎八十八	一紙	1点
168	奈良古都之古瓦 但寸尺如图 木版	明治26.3.20出版	著作者奈良県大和国添上郡奈良町大字雑司中島鹿平・印刷兼発行者奈良県同国同郡奈良町大字橋本阪田一郎	一紙	1点
169	奈良興福寺之古瓦 但寸尺如图 木版	明治26.3.20出版	著作者奈良県大和国添上郡奈良町大字雑司中島鹿平・印刷兼発行者奈良県同国同郡奈良町大字橋本阪田一郎	一紙	1点
170	東大寺鐘楼堂之古瓦 但寸尺如图 木版	明治26.3.20出版	著作者奈良県大和国添上郡奈良町大字雑司中島鹿平・印刷兼発行者奈良県同国同郡奈良町大字橋本阪田一郎	一紙	1点
171	奈良大仏殿之古瓦 但寸尺如图 木版	明治26.3.20出版	著作者奈良県大和国添上郡奈良町大字雑司中島鹿平・印刷兼発行者奈良県同国同郡奈良町大字橋本阪田一郎	一紙	1点

3 典籍

漢籍

28	四書集註 道春点 論語			括	1括(2冊)
28/1	○四書集註 道春点 論語 上(卷一~五) 木版, 厚1.7cm, 附表紙・後表紙, 後表紙に「荻野悦太郎」の書入れあり			小豎冊	(1冊)
28/2	○四書集註 道春点 論語 下(卷六~十) 木版, 厚1.7cm, 附表紙・後表紙, 後表紙に「荻野悦太郎」の書入れあり			小豎冊	(1冊)
36	新刻改正 論語 後藤点			括	1括(4冊)
36/1	○新刻改正 論語 後藤点 一(卷之一・二) 木版, 厚0.8cm			豎冊	(1冊)
36/2	○新刻改正 論語 後藤点 二(卷之三~五) 木版, 厚1.0cm			豎冊	(1冊)
36/3	○新刻改正 論語 後藤点 三(卷之六・七) 木版, 厚0.9cm			豎冊	(1冊)
36/4	○新刻改正 論語 後藤点 四(卷之八~十) 木版, 厚0.8cm, 題簽欠			豎冊	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
37	新刻改正 中庸章句 後藤点 木版,厚1.0cm,題簽欠			豎冊	1冊
26	四書集註 道春点 孟子			括	1括(2冊)
26/1	○四書集註 道春点 孟子 上(卷一~三) 木版,厚2.1cm,先頭は筆写,附表紙・後表紙,後表紙に「荻野悦太郎」の書入れあり			小豎冊	(1冊)
26/2	○四書集註 道春点 孟子 下(卷四~七) 木版,厚2.6cm,附表紙・後表紙,後表紙に「荻野悦太郎」の書入れあり	天保8.曝春再刻	書林大阪心齋橋通北久太郎町 河内屋喜兵衛外	小豎冊	(1冊)
38	新刻改正 孟子 後藤点			括	1括(2冊)
38/1	○新刻改正 孟子 後藤点 三(卷之七~十) 木版,厚1.2cm,題簽欠			豎冊	(1冊)
38/2	○新刻改正 孟子 後藤点 四(卷之十一~十四) 木版,厚1.2cm,見返に「安芸郡熊野村新宮荻野房太郎」の書入れあり	明治17.3.翻刻	訓点者相続人後藤元太郎,翻刻人大阪府浜本伊三郎外	豎冊	(1冊)
27	四書集註 道春点 学庸 完(大学・中庸) 木版,厚1.3cm,附表紙・後表紙,扉「小松板 四書集註 道春点校 浪華書林積玉圃」あり,後表紙に「荻野悦太郎」の書入れあり			小豎冊	1冊
39	改正音読 礼記 三(内題) 木版,厚1.5cm,題簽欠			豎冊	1冊

漢学

46	靖献遺言			括	1括(2冊)
46/1	○靖献遺言 一至四 木版,厚0.8cm,後表紙に「荻野房太郎」の書入れあり	明治2.再刻	浅見綱斎著,京師風月堂梓	小豎冊	(1冊)
46/2	○靖献遺言 五六 木版,厚1.4cm,後表紙に「荻野」の書入れあり	明治2.再刻	浅見綱斎著,京師風月堂梓	小豎冊	(1冊)

仏教・神道

24	長生草 前編 木版,厚0.5cm,題簽欠,見返に「安芸郡熊野邑新宮原荻野氏」の書入れあり	寛政6.序	法眼普山(山崎普山)著	豎冊	1冊
13	本教大基 全 木版,厚0.7cm,表紙に「荻埜」の貼紙あり	明治3.9.官許	柴田花守著述,製本発行所大阪秋田屋太右衛門外	豎冊	1冊

年表・年代記・実録・歴史

32	和漢年契 全冊 木版,厚1.0cm	天保2.10.再鑄	蘆屋山人(高安蘆屋)著,書林大阪宜英堂葛城長兵衛外	書冊	1冊
3	松平崇宗開運記 上中下 写本,厚1.0cm,表紙に「荻埜蔵」,遊紙に明治甲戌	(天保年中写)	山下元啓写	豎冊	1冊
51	大成年代広記 全 木版,折畳み,弘化2年から明治11年までの年代を書入れた紙を貼付	(文化頃)	大阪心齋橋通唐物町南へ入河内屋太助板行	一紙	1枚
9	油井根元記 全 写本,厚1.5cm,表紙に「荻埜蔵書」の書入れあり			豎冊	1冊
10	奥州白石女敵討 写本,厚0.6cm,表紙・見返に「奥州白石噺」,後表紙裏に「安芸郡熊野村荻野氏」の書入れあり			豎冊	1冊
16	石山軍記 全 写本,厚1.5cm			豎冊	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
33	十符の菅薦 厚5.3cm	明治9.12.刻成	近藤芳樹著, 宮内省蔵版々権 所有	帙	1帙(4冊)
33/1	○十符の菅薦 一 木版, 厚1.2cm			豎冊	(1冊)
33/2	○十符の菅薦 二 木版, 厚1.2cm			豎冊	(1冊)
33/3	○十符の菅薦 三 木版, 厚1.2cm			豎冊	(1冊)
33/4	○十符の菅薦 四 木版, 厚1.2cm	明治9.12.刻	近藤芳樹著, 宮内省蔵版々権 所有	豎冊	(1冊)

漢詩・和歌

30	唐明詩学解環 木版, 厚1.8cm, 題簽欠, 見返に「寛政九 陶山氏」. 卷末に「芸陽城東熊野村彝陶氏所蔵」の書入れあり	寛政2.2.補刻	岡鳳鳴(懋徳)鑑定, 并以通・ 松直一編, 平安書舖植村藤右 衛門外	小豎冊	1冊
20	真詩聯 全 木版, 厚1.2cm. 題簽欠, 奥書に「西備之産 臣泰持 用」の書入れあり	文化4.新刻	池永寿山著, 書肆紀陽加勢田 屋平右衛門(青黎堂)外	小豎冊	1冊
34	詩学自在 卷之下 木版, 厚1.0cm, 題簽欠, 「阿賀法幢」の書入れあり	文化6.7.	大窪詩仏・糸井榕齋同輯, 京 都書林植村藤右衛門外	小豎冊	1冊
15	詩語碎金 新刻 木版, 2巻1冊, 厚1.2cm	文政5.2.新刻	泉要士徳編纂, 石井貞士幹訂 正, 平安書肆植村藤右衛門外	豎冊	1冊
23	三拾六歌仙 写本, 厚0.5cm, 後表紙に「世良姓」の書入れあり			小豎冊	1冊
52	河遊(彩色一枚摺和歌) 木版		芳埜松花述, 浪花菊友調, 模 鈴木万里・山村友五郎, 泉興	一紙	1枚

教訓

11	実語教童子教 木版, 厚0.8cm, 題簽欠, 表紙に「門田屋」, 後表紙に 「文久二年戌十一月 賀登多や元三郎什物」の書入れあ り		本類卸所大坂心齋橋本屋清七 板	豎冊	1冊
14	定刻六諭衍義大意 木版, 厚1.0cm, 見返に「荻埜氏」「扇山仲本」, 卷末に 「安南郡熊野村新宮原賀夷城」の書入れあり	享保7.8.吉	室直清(鳩巢)著, 洛陽書林中 川茂兵衛外	豎冊	1冊
31	教訓道智遍(みちしるべ) 写本, 厚0.8cm, 後表紙に「芸州安芸熊野村荻野」の書入れあり			豎冊	1冊

囲碁

21	囲碁捷徑 上 銅版, 厚0.8cm	(明治22.8.3刊)	安井算知著, 浪華崇山堂梓	小豎冊	1冊
54	囲碁早稽古伝 内題「囲碁心得方伝授」		菅田雅君様・上杉豊三郎様	豎冊	1冊

浄瑠璃・義太夫・長唄

12	道中亀山噺(六ツ目在所の段) 木版, 厚0.5cm, 表紙破損, 後欠		(近松半二著), 大坂船町天満屋 玉水源次郎新版	豎冊	1冊
6	増補岸姫松轡鑑(三段目の切) 木版, 厚0.5cm, 附表紙に「轡鑑 弘化元年」の書入れあり		(豊竹応律他著)	豎冊	1冊
42	釜煎の段(釜淵双級巴 下の巻) 木版, 厚0.4cm, 後欠, 表紙は写し		大坂船町天満屋玉水源次郎版	豎冊	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
43	再版釜煎の段(釜淵双級巴 下の巻) 木版,厚0.4cm,附表紙,見返に「谷川千歳」「熊野荻野」の書入れ,「熊野嘉居城」印あり		大阪船町加賀屋清助板	縦冊	1冊
44	遠州屋の段(敵討優曇華龜山 八冊目) 木版,厚0.5cm,附表紙,後表紙見返に「谷川千歳 海上」の書入れあり		大坂船町紙屋与右衛門板	縦冊	1冊
45	小坂部館段(蝶花形名歌嶋台 八冊目) 木版,厚0.7cm,附表紙,「天保十四卯霜月求之 谷川千歳」「海上」の書入れ,「熊野嘉居城」印あり		大阪佐々井次郎右衛門	縦冊	1冊
40	〔長唄・浄瑠璃文車〕 木版,厚5.6cm,原表紙欠			横半	1冊

医学・薬学

25	小刻傷寒論 木版,厚1.8cm,題簽欠	文政6.仲冬再板	張仲景著,王叔和撰次,浪華書林柏原屋清右衛門外	小縦冊	1冊
267	諸秘法 肥後国天艸郡志岐邑於蓮窓寺写 写本	文化8.霜.	高嶋	縦冊	1冊
19	中西古法丸散方 全 法・小蘭花先生秘法 写本,厚2.0cm	晚成堂□□秘 明治10.立春写	小城寿実(広島市研屋町中西元定塾生)写	小縦冊	1冊
53	〔薬覚書〕 厚1.0cm			小縦冊	1冊

辞書・用文

8	消息文鑑尺牘楷梯 (文政7刊)			括	1括(2冊)
8/1	○消息文鑑尺牘楷梯 一 木版,厚0.8cm,見返に「芸陽城東菅田黄溪蔵本」書入れ,他に「芸陽城南円福寺蔵」印あり		青霞道人(序),市原子静誌	小縦冊	(1冊)
8/2	○消息文鑑尺牘楷梯 三 木版,厚0.8cm,見返に「芸陽城東菅田黄溪蔵」書入れ,他に「芸陽城南円福寺蔵」印あり,忠親の和歌6首(6枚)挿入,			小縦冊	(1冊)
18	書初音鳥 全(伊勢参りより恋のふみ 外) 木版,厚1.0cm,題簽破損,見返に「熊野村新宮原嘉居城側徳永氏右人より明治六年四月七日晩被下之」の書入れあり			横半	1冊
47	〔いろは字引〕 木版,厚2.3cm.前後欠			小縦冊	1冊

手習い

4	唐詩五絶(手本カ) 写本,厚0.8cm			縦冊	1冊
5	千字文(手本カ) 写本,厚0.6cm,表紙に「海城」とあり			縦冊	1冊
41	儀義経含状 写本,厚1.9cm,「海上壘三郎蔵書」の書入れあり	元暦2.6. 安永2.閏3.吉写		縦冊	1冊
172	〔手習い〕 3枚			一紙	1点
48	天地山川春夏秋冬(千字文) 写本,厚1.8cm			折本	1冊
49	江水悠々遠客情(千字文) 写本,1.6cm,後表紙に「熊野邑荻野氏」の書入れあり			折本	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
和算					
2	改算記 上下 木版,厚2.3cm,附表紙,「荻野悦太郎」「明和七年寅八月」「安芸郡熊野村」などの書入れあり			縦冊	1冊
法制					
35	補闕職原鈔支流 上 木版,厚0.8cm,見返に「熊野村荻野氏」の書入れあり	(天和3.刊)		縦冊	1冊
便覧					
22	宮御移転御供御用掛掌中覽要 木版,彩色,厚1.5cm,汚れあり	万延2.1.	堀川二条越後屋治兵衛	小横半	1冊
29	明治幼学便覧 銅版,厚1.5cm,題簽欠	明治16.7.5刊	森口永太編輯,大阪府浜本伊三郎外出版	小横半	1冊
曆					
50	万曆両面鑑 改正刪補日夜重宝 木版,折畳み,「熊野村荻野氏」の書入れあり	文政6.重刻	大阪書林心齋橋通南久太郎町塩屋喜助・塩屋長兵衛合梓	一紙	1枚
書					
174	口村先生書	明治3.	口村先生	一紙	1点
173	のみノ尾村池田誠意先生書	明治3.正.10	池田誠意	一紙	1点
教科書					
17	地理初歩小学読本字引 完 木版,厚1.7cm	明治8.2.刊	西野古海編纂,東京三書房発兌	小縦冊	1冊